

指定希少野生動植物種（令和4年3月22日指定）

分類名	淡水産魚類	昆虫類
科名	ドジョウ科	アゲハチョウ科
種名（属名）	イシドジョウ（シマドジョウ属） 	ギフチョウ（ギフチョウ属） 
環境省レッドリストカテゴリー	絶滅危惧 IB 類（EN）	絶滅危惧 II 類（VU）
山口県レッドリストカテゴリー	絶滅危惧 IA 類（CR）	絶滅危惧 IA 類（CR）
県内の生息地	阿武川水系、粟野川水系、木屋川水系、佐波川水系等の河川の一部	山口市、柳井市、田布施町等の一部地域
全国の分布状況	島根県、広島県、山口県、福岡県の4県にのみ分布	本州の一部の県を除く秋田県から山口県にかけて分布し、山口県は西南限
形態	全長5～9cm、口ひげ6本、尾柄部には膜状のひれがある。口先からエラ蓋の頬に縦帯状の縞模様がある。山口県では、背部及び体側の斑紋が河川により異なり、背部の斑紋は縦帯状又は点列である。	成虫の翅を広げた大きさは5cm前後になる。黒と黄色の縞模様、後翅に赤や青、オレンジ色の紋を持っている。特徴的な外見の美麗種であり、「春の女神」と呼ばれる。
生息状況等	河畔林が豊かな河川に多く見られる。県東部を除いた広範囲の水系に出現し、1991年から2015年までに65箇所が生息地が確認されていたが、2018年から2021年までの調査では、半数の生息地で生息が確認できず、個体数も減少している。 要因は、河川工事等による生息環境の消滅、観賞や販売目的の捕獲と考えられる。	落葉広葉樹林の周辺に生息する。山陰側と山陽側に多くの生息地が点在し、2000年までに100箇所を超える地点で生息が確認されていたが、多くの生息地が衰退し、2021年には、5箇所までに減少しており、個体数も減少している。 要因は、植生遷移による活動場所の喪失と食草(カンアオイ属)の衰退、鑑賞や販売目的の捕獲と考えられる。
指定の理由	種の存続に支障を来す程度に個体の数が著しく少ないこと、過度の捕獲、生息環境の悪化等、その種の存続に支障を来す事情があり、かつ、特にその種の保護を図る必要があると認めるため	種の存続に支障を来す程度に個体の数が著しく少ないこと、過度の捕獲、生息環境の悪化等、その種の存続に支障を来す事情があり、かつ、特にその種の保護を図る必要があると認めるため